

令和
7年度

事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS JUMP !



○事業所名	COMPASS JUMP!		
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 10日	～	令和7年9月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 5日	～	令和7年 9月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価作成日	令和7年 10月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携を行っております。 各担当者が会議や勉強会を行っており、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れ、計画書や日々の療育に反映しております。	各担当ごとに事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会を実施しております。 複数の地域に事業所があるため、不明な点などは指定権者に確認し、法令に沿った事業所運営を行っております。	児童が楽しみながら通ってくる事業所、成長を感じられる事業所、安心して通ってもらえる事業所を常に考えながら、決められたルールを遵守して取り組んでまいります。
2	事業所内に保育士、作業療法士などの有資格者が専従で在籍しているため、多職種の視点から助言や支援を行っております。	療育の様子だけでなく、自由活動の時間など児童の成長や変化が見られた際には、積極的に情報共有を行っております。	今後も職員同士のコミュニケーションを大切にし、些細なことでも共有し合える環境づくりに努めてまいります。
3	職員一人ひとりが児童と真剣に向き合い、1回の療育時間を大切にしております。	療育時間だけでなく、児童の滞在時間全体を意識し、様子を見守るとともに積極的に声かけを行い、信頼関係の構築に努めております。	今後も児童一人ひとりとの関係づくりを意識し、得意なことや苦手なことを把握しながら、意欲を高められるような声かけを行ってまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	経験が不足している点が課題となっております。	知識を深めるために、研修会や事業所見学などの機会を設けるよう取り組んでおります。	関係機関や事業所などの情報共有を、今後さらに図ってまいります。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会ができておりません。	児童は日常的に園や施設へ通っており、障がいのない子どもたちとの交流はできていると考えていること、また他施設との時間の調整が難しいため機会を設けることができておりません。	今後は保護者様のご意向を伺いながら交流の機会を検討してまいります。
3	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われておりません。	育児のご相談を受ける中で、ご家庭で取り組んでいた対応方法などを送迎時や事業所お迎え時にお伝えしておりますが、研修会などについては機会を設けることができておりません。	育児のご相談などをお受けする際には、難しい専門用語ではなく、なじみのある言葉を使用し、取り組みやすいよう配慮しております。 研修会などについては、今後は保護者様のご意向を伺いながら機会の充実に努めてまいります。



公表日：令和8年5月2日